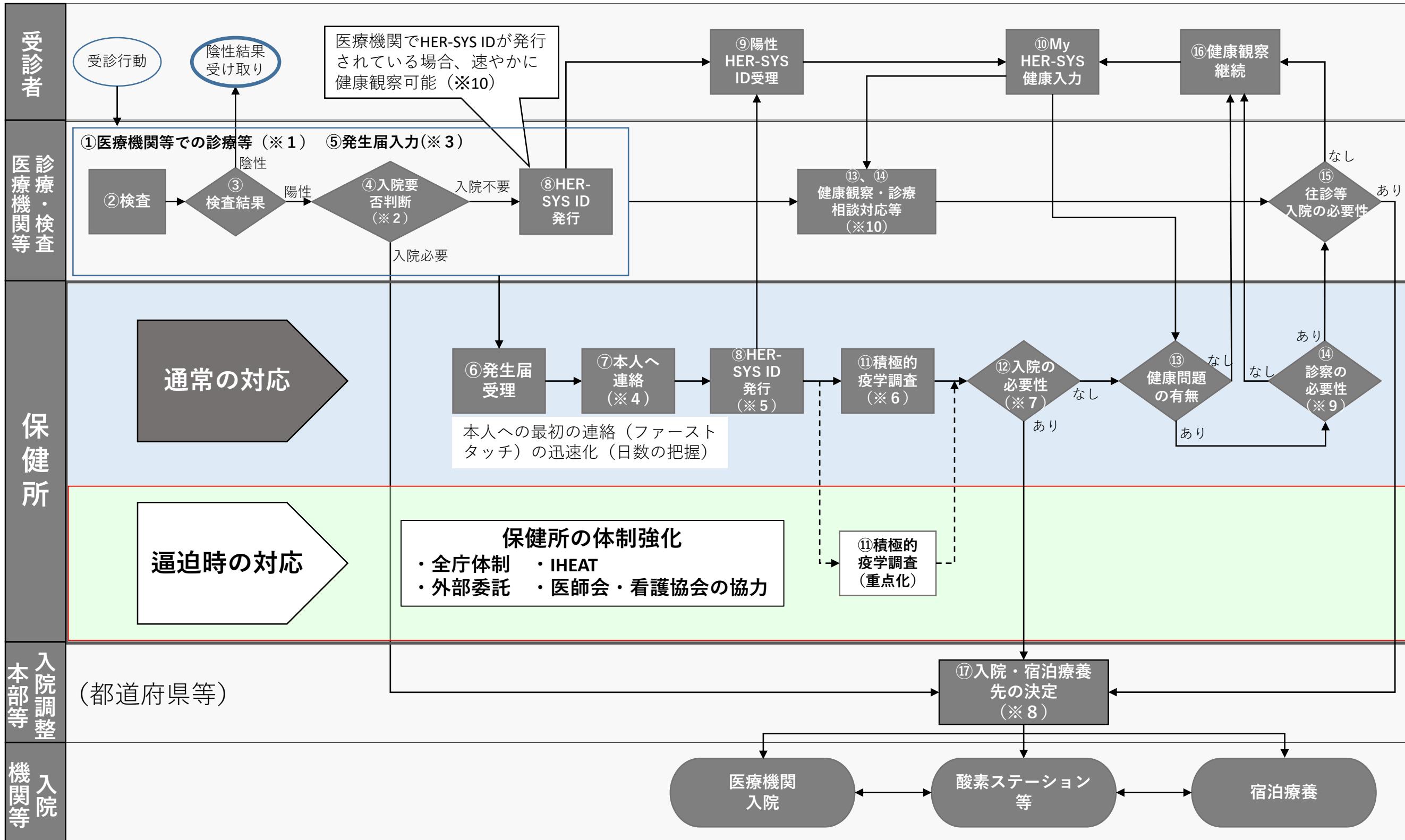


医療機関受診後の基本的業務フロー図例



注釈一覧

- ※1 **My HER-SYSの資料等を提供。陽性の際は、HER-SYS ID発行等のショートメールが届く旨説明。**
- ※2 医療機関による「入院要否判断」から直接、入院調整に至るフローあり。
- ※3 **陽性判明後、速やかにHER-SYSで発生届を提出。医療機関でHER-SYS ID発行等のショートメールを発信。**
(入院の要否が判断できる場合は入力する。ワクチン接種や妊娠の有無等についても入力する。)
- ※4 **本人への最初の連絡（ファーストタッチ）の迅速化を推奨（ファーストタッチが遅れる場合、HER-SYS IDの発行を優先。）。**
陽性の結果とともに、入院の必要の有無、入院が必要ない場合、宿泊療養の必要性等、必要事項について聞き取りを行い、IDがショートメールで届くことを説明。
- ※5 **ショートメールで、HER-SYS ID等を送信（ショートメールで文章等の記載可能。）。**
健康観察を開始する（医療機関等でHER-SYS IDが発行されている場合は省略。）。
- ※6 陽性者の入院の可否や、陽性者数の増加等の状況によっては、**ファーストタッチと健康観察を優先し、**その後疫学調査を行う。
- ※7 陽性者の状況に応じて（都道府県の基準や陽性者数の状況に沿い）、入院や宿泊療養を決定する。
- ※8 都道府県や保健所等で入院先を決定する。
- ※9 My HER-SYSや自動架電等を活用し、症状増悪時には直接架電等で確認を行い、必要時は診察等につなぐ。
- ※10 医療機関等での検査結果の判明後、保健所による本人への連絡の前から、HER-SYSを活用する等により、**医師会や地域の医療機関による健康観察が行われている事例あり。**